

窓に立山連峰のある生活
たてやま暮らし2024

青い空 こどもが輝く 美しいまち 立山町

立山町は、3,000m級の山々からなる立山連峰を有し、その恩恵を享受している町です。立山連峰がある風景は生活の一部であり、その豊かな水資源や、観光資源となっている雄大な自然も、常にそこにあるものです。しかし、人口減少が顕著となっている現在、立山町で暮らしたい、育てたいと思っていただくために、この唯一無二の日常を今一度、見直し、伝えていかなくてはなりません。安全で安心な質の高い暮らしを実現し、人々を惹きつける町となるよう展開する施策をここに公開します。

この「たてやま暮らし2024」は、今年度で終了するものではなく、「たてやま暮らし2025」等として、未来へ向けて続いていきます。

大項目	目標	具体策	内容
このまちで育てたい	町の子育て環境のシンボル	新児童館「アカリエ」開館	屋内、屋外に大型遊具設置。積雪時は屋内の多目的ホールにエア遊具設置。天候問わず子どもたちに遊び場を提供
		「わんパック」	ランドセルよりも軽い「わんパック」を配布。令和8年度の1年生分までは議会で承認済。ランドセルと「わんパック」のどちらを使用するかは自由
		新入学児童に「わんパック」（通学用リュック）無償配布	令和6年度1年生から3色 令和7年度1年生からは4色から選べます。
		立山町総合公園	屋内グラウンド、多目的グラウンド、テニスコート、野球場、ふれあい広場、こぶしの谷、花の丘、とりでの丘の大型遊具等。大人も子どもも楽しめる施設
		誕生祝い事業	妊婦の方に出産準備支援金1万円、出産時にお子さん1人につきたてやまポイント2万ポイント
		出産・子育て応援給付金	出産応援ギフトとして妊婦1人当たり5万円、子育て応援ギフトとしてお子さん1人当たり5万円
		母子手帳アプリ「たてやま親子手帳」	「たてやま親子手帳」アプリを通じ、妊産婦や乳幼児の検診のお知らせ、オンライン面談等、妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポート
		子育て短期支援事業 ～困ったときの預かり事業～	保護者の疾病や周囲に面倒を見てくれる人がいない等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難になった場合に、児童福祉施設でお子さんを預かり、子育て家庭を支援
		学校給食費 第3子以降と低所得世帯無料	町内の小・中学校に在籍する第3子以降の児童・生徒と低所得世帯の児童・生徒の給食費無料
		小学生～高校生の通院・入院医療費助成	高校生までの医療費無料
このまちで住みたい	移住・定住促進	保育士等就労助成金	新卒もしくは直近の保育園等退職から1年以上経過している方が町内保育園等で保育士等として働く場合に月3万円を令和11年3月31日まで助成。県外から町内へ移住する方には引っ越し費用等を最大20万円助成
		保育士等就労継続支援金	町内保育園等で働く保育士等で町内在住の方に月7,000円、町外在住の方に月5,000円助成
		町単保育士等処遇改善補助金の拡大	保育所等を運営する法人に対する追加支援を国庫補助処遇改善加算額の1/8から1/5に拡充
	就労支援	孫守り報奨金	就労中の父母に代わり祖父母等が孫を保育(孫守り)した場合には、孫守り報奨金を交付。令和5年度から曾祖父母まで拡充
	立山町民の誇りを共有	立山登山学習・黒部ダム散策活動補助、山小屋宿泊補助	小学校が行う立山登山、黒部ダム見学行事に対し補助。宿泊は児童1人4,000円(黒部ダム見学の場合は7,000円)上限。交通費は立山駅⇨室堂は児童1人1,600円上限、小学校⇨立山駅と室堂⇨黒部湖は全額補助
	教育環境は県内トップレベル	AIに負けない子どもを育てます『「読解力」向上3か年プログラム』	国立情報学研究所 新井紀子教授監修リーディングスキル向上のための教員視察研修を継続。子どもたちの読解力を向上させる授業を展開
このまちで働きたい	移住・定住促進	低所得世帯等の子どもを対象とした「オンライン学習支援・受験等費用補助」	低所得世帯等や不登校児童へのオンライン学習支援。大学受験料や高校・大学等進学に係る模擬試験受験料の補助
		定住促進事業補助金	住宅の新築、購入、リフォームをした場合に10万ポイント。県外からの転入者、立山町で就労、三世代同居等で最大110万円加算
		町営住宅等子育て世帯移住定住支援ポイント	子育て世帯の新たな町営住宅入居に対し家賃9割相当ポイント付与
	省エネ快適生活	空き家バンク	空き家バンクには常時20～30件登録。空き家バンク登録の所有者と利用者で契約成立の場合、家財道具処分費用を最大20万円補助
		個人住宅向け省エネ設備導入補助金	住宅に太陽光発電設備と高効率給湯器に補助登録事業者を通じて設置した場合、設置費用等に補助
		三世代同居省エネ設備切替補助金	三世代同居(近居)世帯向けのエアコンや高効率給湯器への切り替えに対する補助
	持続可能な交通環境	地域公共交通計画の策定	町営バスは維持しながらそのあり方(デマンドバス等)を検討。芦峯寺線で実証実験に向けた検討作業開始
		電車・バス料金を下げるために一お気軽バス	富山地方鉄道立山線(立山町内に限る)雄山中学生又は63歳以上に定期券補助。町営バス全路線65歳以上等の町民は月額1,500円
		除雪対策「富山県でトップクラス」	47の除雪事業者、230台の除雪機械で万全の体制を維持。「立山町に入ったら、除雪が行き届いている」とよく言われます。
	共に生きる優しい町	地域生活支援ポイント	高齢者等がサポートをしてくれた人にお礼としてポイントをお渡しできる。サポートは、除雪やゴミ出し、外出支援等
このまちで働きたい	明日を担う世代を支援	教育ローン等返済応援補助金	就職後に開始となる教育ローンの返済について、補助率を5割から7割に拡充。企業版ふるさと納税寄附企業に就職した場合の補助を6割から8割に拡充
		従業員転入促進奨励・従業員転入応援奨励	本社機能施設等の移転に伴う従業員の転入を奨励。転入した従業員数×20万円を企業に、20万円1人1回限りを従業員本人に助成
		空き店舗活用開業支援補助金	空き店舗を活用した小売業、飲食業、サービス業その他これらに類する事業の出店の際、店舗の修繕や、備品購入に係る経費の1/3を補助(上限100万円。中心市街地での実施の場合は上限120万円)
		立山黒部アルペンルートのブランド力と響きあう起業支援	豊富な水と電力を生かした、ものづくり(製造業が多い)富山県。しかし、ここ立山町では、インバウンドから人気の「雪の大谷」、「黒部ダム」からなる国際山岳観光地立山黒部アルペンルートがある。この立山ブランドと響きあう、グローバルビジネスが進行中。株式会社白岩(日本酒「IWA」醸造2/3が海外に)、ヘルジアンウッド(レストラン、ハーブ工房、エステ、サウナ等)、モンベル立山ベースキャンプ(キャンプ場、コテージ、物販)等が立地。これからも、立山ブランドを生かした農業をはじめ、国内外に展開を目指す起業者を支援
まちなか『リ・デザイン』	交通弱者が住みやすいまちなかへ	五百石駅周辺再設計事業	天満宮から役場敷地までの県道沿いを再整備設計 まちなか立地適正化計画(令和6年度)



冬の立山

第2弾 たてやま暮らし2025 を検討中

たとえば

まちなか『リ・デザイン』の見える化。区画整理事業で土地を流動化させ、診療所(皮膚科、産婦人科医療施設・助産所など)や宿泊施設の立地支援

主に、富立大橋からの県道富山立山公園線沿いの宅地開発支援

公共バスは令和7年1月からの芦峯寺線のデマンド交通実証実験を受けて、他路線への展開を検討

雄山中学校体育館に空調整備(令和6年度には断熱ガラスフィルム貼り、屋根遮熱塗装を実施)

人(町民)とモノ、コトをつなげるSNS。例えば企業×人、子育て×人、空き家×人